

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：3年 2月 4日

事業所名：放課後等デイサービスかのん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者それぞれに対応するためのスペース確保ができています。八鹿出張所についてはいささか狭い感がある。	はい12 どちらともいえない5 いいえ2 わからない2 ・利用する人数にもよるがもう少し広がったらと思う。	・出張所と合わせて、広さには限りがあるので、家具等の配置を変更したりして、学習スペースの確保を図っていく。
	2 職員の適切な配置	:指定を満たす基準を配置している。	はい 13 どちらともいえない 1 わからない 8 ・専門性はよくわからない。	・引き続き決められた基準を守り、適正な人員配置を行っていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・当日の日程や施設内での決まり事など、できるだけわかりやすいように絵や文字で伝えるように努めている。	はい13 どちらともいえない 3 いいえ 1 わからない 4 ・動けない利用者には2階への上り下りがたいへんではないか。 ・どのようにしているのか見たことがないからわからない。	・施設内の不要なものなど撤去し、表示物がよく見えるように、また分かりやすく目立つように工夫をしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・本年はコロナ課渦のなかで、ウイルス対策をはじめ、換気、除菌に注意を払っている。	はい 15 どちらともいえない 3 わからない 4 ・壁紙の破れをきれいにできたらうれしい。	・設備、備品など計画的に入れ替えながら清潔感を出せるようにしていく。修繕箇所については再チェックを行い、修繕していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・PDCAサイクル(目標設定と振り返り)については、そのものの認知度を上げるための研修を行うなどして、計画策定に向けた方向性である。		・昨年と同様、目標と評価の在り方を研究しながら進めていく。他の施設での計画も参考にしていきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者評価は、委員の委嘱などの課題があり、現時点では外部評価の導入はなされていない。		・他施設の第三者評価の仕組みを研究していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・毎月1回のスタッフ企画による研修、自治体主催の研修会に積極的に参加しているが、今年度はコロナの影響を受けて開催回数が少ない。		・積極的に様々な団体が主催する研修会にも参加していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・相談員、保護者との担当者会議をもとに直接支援にあたるスタッフと協議を行い、計画を作成している。	はい 19 どちらともいえない 2	・利用者の状況を客観的にみながら、それぞれの支援計画に反映していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・それぞれの利用状況に差があるため、個別活動が中心となるが、長期休暇等を利用して集団活動の計画を作成している。	はい18 どちらともいえない 2	・支援計画を元として、細かな実施計画を具体的に作っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・定期的にモニタリングを行い、利用者の発達段階に応じ、必要な支援を設定し、発達支援計画に記載している。	はい18 どちらともいえない 2	・支援計画を元として、細かな実施計画を具体的に作っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・利用者の特性に応じて、支援計画に基づいて行っている。	はい12 どちらともいえない5 いいえ2 わからない2	・数値化できるものは数値化するなどして誰が見ても状況がわかるようにしていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・スタッフミーティングにて企画立案している。	はい 14 どちらともいえない 2 わからない 5 ・色々考えてくれてありがたいです。	・継続して計画立案していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・将来的な学校行事など踏まえながら、工作、クッキング、体験メニューなど独自のプログラムを組み、支援を行っている。		・当施設では音楽メニューが弱いため、関係各所と連携し新しいメニューを取り入れていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・月1回の体操教室を開催するなどし、室内室外問わずにプログラムが固定化しないように努めている。		・当施設では音楽メニューが弱いため、関係各所と連携し新しいメニューを取り入れていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前にスタッフミーティングにより、当日の予定また利用者それぞれの近況など報告しあい、情報共有を行っている。		・情報の共有化を進めるとともに、スタッフ間のコミュニケーションを図っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了時では、勤務時間の関係や送迎の関係から行っていないが、次の日のスタッフミーティングにて報告するようにしている。		・閉所後は難しい面があるが、会所前ミーティングを濃いものにしていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・連絡帳、業務日誌等、正確に記入するようにしている。		・連絡帳記入者が責任をもって記入していくが、より詳細にわかりやすい几帳面に努めていく
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・6か月に1回、法令に基づいて行っている。		・コンプライアンスを徹底し、モニタリングにて見直しをしていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・管理者、児童発達支援管理者が連携して相談員とともにしている。	・引き続き行っていく	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	・幼児の移行支援については現在ほとんど取り組めていないが、小学校、支援学校との連携派一部において進められている。	・相談員との連携を深めるとともに、学校とも連携を深めていく	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・関連障害福祉施設根の情報の提供は行われているが、他では必要に応じて提供している。	・引き続き、必要に応じて取り組んでいく	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・スキルアップのため積極的に研修会への参加は即しているが、今年度はコロナ渦で研修会も少なく受講機会が少なかった。	・積極的に取り組んでいく	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・非常にデリケートな部分もあり必要性は感じているものの、具体的な取り組みには至っていない。	はい 2 どちらともいえない 3 いいえ 2 わからない 14	・地域の子供会や学童保育施設とも協議は進めていきたいが、保護者理解や先方施設の理解も進める課題がある。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・取り組んでいない。	はい 12 どちらともいえない 1 いいえ2 わからない2	・年数回できれば取り組む
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・重要事項説明書と支援計画について十分な説明を行ってきている。	はい 20 どちらともいえない 1	・変更が生じた場合の改正版を配布するなどしながら、変更にも十分な説明を心がけていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・随時行っている。	はい 20 どちらともいえない 1	・引き続き丁寧に説明していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・個別の相談は話すことがあるが、一般でいうペアレント・トレーニングは行われていない。	はい 6 どちらともいえない 1 いいえ 5 わからない 9	・専門家を招聘するなどして、保護者向けの研修会を開催していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時など保護者と会う機会の時には最近の様子や状況などを話をして共通理解できるよう努めている。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 1	・連携しながら行っていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・随時、必要があれば助言することもある。	はい12 どちらともいえない 6 いいえ 2 わからない 1	・具体的な対応に取り組んでいく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・基本的に保護者会は組織されていない。保護者と一緒の行事も行うが日程、告知方法などに課題があり、参加は少数になっている。	はい 1 いいえ 13 わからない 6	・保護者の希望するイベントなどリサーチし、告知方法を考えながら企画立案し、実行していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・その時々に応じて対応している	はい 9 どちらともいえない 1 いいえ 1 わからない 8	・今後も迅速かつ丁寧に説明していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳に随時記載し、口頭でも行っている。	はい 17 どちらともいえない 2 わからない 2	・簡素に気軽に意思疎通できる環境を作っていく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・利用者の了解を得たうえで、インスタグラム、「かのんだより」を発行し、施設内での様子などを発信している。	はい 19 どちらともいえない 1	・個人情報に配慮しながら、進んで更新していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・十分対応している。	はい12 どちらともいえない 1 わからない 7	・引き続き注意を払いながら対応していく
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・重要事項に記載されているだけで個別マニュアルはできていない。	はい 13 わからない 7	・早急に策定していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・消防計画に基づいた避難訓練をしている	はい 2 わからない 16	・地域防災計画を元に独自計画に取り組んでいく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待防止マニュアルに基づいて、研修を行っている		・年1回の虐待防止研修と通報しやすい仕組みなどマニュアルを補完する取り組みを進める
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束は一切行っていない。		・従来通り。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・当該児童についてはスタッフ間で十分な情報の共有をしている		・フェイスシートをスタッフ間で情報の共有を強化し、十分な注意をしていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・公開されている事例集にて、スタッフに周知している		・引き続き対応していく